



## スマホ（携帯）問題第2弾！

昨年の2月号でスマホ（携帯）問題についての記事を掲載しましたが、この問題については今後も継続的に取り上げていきたいと思えます。

さて、5月16日（土）ににっこばまちづくり協議会の総会の折に貴嶋会長より県の高等学校PTA連合会が実施した携帯電話やスマホについてのアンケート結果やその結果を受けた決議文を見せていただきました。県内の4000名の高校生を対象にしたアンケートの結果、

- 約9割の生徒が携帯電話やスマホを所有
  - 約7割の生徒が自分の利用料金を知らない
  - 7割を超える家庭で、使用に関してのルールを設けていない
  - いじめや詐欺といったトラブルも発生している
- ということが分かりました。

そして、県高等学校PTA連合会では保護者に対して、子どもたちの未来のために次の「4つの誓い」を立てて、啓発に努めているそうです。

- 1 学校には持って行かせません。
- 2 家庭でルールを作ります。
- 3 情報社会について積極的に学びます。
- 4 困ったらすぐに相談します。

スマホ（携帯）などの情報機器の活用については、その利便性と課題をしっかりと踏まえ、子どもの健全育成という観点から常に学校と家庭、地域が連携して取り組んでいくことが大切です。高校生になってからということではなく、小学校のうちから正しい情報機器の使い方について子ども達に指導して行く必要があると思えます。本校でも、この問題については今後、PTAと連携して取り組んでいきたいと考えています。

## 「自ら学ぶ」ことの大切さ

学校では、よく「主体的に」という言葉を使います。わかりやすく言うと「自ら」進んで行うことです。つまり、勉強でもお手伝いでもあいさつでも全ての行動を自分で考えて行動することが大切です。

ご存知の方も多いと思いますが、今、「ビリギャル」という映画が話題になっています。学年で成績がビリだった女子高生が1年で偏差値を40上げて慶応大学に合格したという実話です。限りなく不可能に近いことを実現した奇跡の話として話題になっています。

映画は観ていませんが、先日、松吉先生に本を借りて読みました。まず、主人公の女子高生の偏差値30以下の学力の信じがたい実態に驚愕でした。「聖徳太子」を「せいとく たこ」と読み、東西南北も分からない程なのです。この女子高生の可能性を信じて指導した著者の坪田さんも凄い人だなと思えました。

何はともあれ、最終的に慶応大学に合格するわけですが、奇跡を起こした要因がいくつかあると思えます。著者が言わんとすることをまとめてみると、「主人公の女子高生がとても素直で、自ら学ぶ意欲をもったこと。一生懸命に努力したこと。周囲の人たちに感謝（恩返し）の気持ちをもったこと。そして、何よりもよき指導者と巡り会ったこと。」ではないだろうかと思えます。人間（子ども）の無限の可能性に改めて驚かされました。

自ら学ぶ意欲をもつことは、生涯に渡って非常に大切なことです。学校においても子ども達の「やる気スイッチ」を入れる方法を考え、工夫して、自ら学ぶ意欲にあふれた子ども達を育てていきたいと思えます。



1日（月）	全校朝会、夏服衣替え
2日（火）	クラブ
4日（木）	田植え（5・6年） 歯科検診（1～3年）
5日（金）	春の遠足（1～4年） プール清掃（5年）
7日（日）	ふれあい参観日
8日（月）	振替休業日
9日（火）	社会科見学（6年）
10日（水）	読み聞かせ、教育相談
11日（木）	委員会活動
12日（金）	清掃班会、プール清掃（4年）

16日（火）	プール開き（6、5、4年） クラブ
17日（水）	児童集会、教育相談 プール開き（2年）
18日（木）	プール開き（1、3年） ALT訪問
19日（金）	プール清掃（6年）
23日（火）	社会科見学（4年）、代表委員会
24日（水）	児童集会
25日（木）	幸ヶ丘小との交流学習（5年）
26日（金）	プール清掃（5年）
30日（火）	クラブ

\* 9日～26日 PTAバレー練習期間

※28日（日） PTAミニバレーボール大会

## 楽しかった、修学旅行！

21日(木)と22日(金)、6年生は鹿児島への修学旅行でした。2日間とも晴天に恵まれ、添乗員さん等のスタッフや見学場所、ホテルや食事等全てが充実した素晴らしい修学旅行でした。

鹿児島では、1日目、シンボルである桜島の手荒い歓迎を受けました。有村溶岩展望所の見学を終え、フェリーで鹿児島市内に渡る直前、大きな噴火があり、噴煙が青空に舞い上がっていくのがバスの中から見えました。幸い、風向きが反対方向だったこともあり、噴石や降灰の被害はありませんでしたが、当日のニュースで噴煙は4000メートルまで達するととても大きな噴火だったと知らされびっくりしました。

鹿児島県庁の展望レストランで昼食を終え、維新ふるさと館で西郷隆盛をはじめとする明治維新の頃、活躍した偉人や歴史の学習をしました。今後の社会科の学習に生かされると思います。その後、班別の自主研修で鹿児島の街を探検しました。みんなで協力して、全員無事に目的地にたどり着くことができました。

2日目、朝5時過ぎに起床し、魚市場に行きました。普段見られない貴重な様子を見学することができました。知覧では、特攻隊員にまつわるお話を聞いたり、平和会館を見学したりしながら平和の尊さについてしっかり学習しました。最後に平川動物園で楽しく過ごしました。

この修学旅行は6年生にとって、一生の大切な思い出になりました。何より6年生一人一人が西小林小学校の児童であるという自覚を持ち、集団として規律正しい行動ができたことが素晴らしい修学旅行になった要因だと思います。



【桜島の噴火の様子】  
～桜島フェリーの船上より



【ホテルでの夕食の様子】  
～食事のマナーを学びました



【鹿児島中央魚市場の様子】  
～魚をさばく様子も見学しました



【知覧特攻平和会館前にて】

## 学校運営協議会を実施しました

学校運営協議会には、

- 学校運営の「基本方針」を承認する
- 教育委員会や校長に意見を言う

という役割があり、保護者や地域の住民の方々も学校運営に参画することができます。そして、この学校運営協議会が設置された学校をコミュニティ・スクールと呼んでいます。

小林市は、市内の全ての学校が小林版コミュニティ・スクール制度を導入しています。

この制度の主な目的は、次のようなことです。

- 今の子ども達が抱える課題を地域ぐるみで解決する。
- 保護者や地域住民の力を学校運営に生かし、質の高い教育を実現する。

今や学校だけでは解決できない教育的課題が山積しています。少子化の進む中で、地域の宝である子ども達の健全な成長のために地域ぐるみで子ども達を育てていくことがとても大切です。

22日(金)に本年度の第1回学校運営協議会を実施しました。委嘱状を交付した後、学校の経営計画や学校運営協議会の取組等についての説明を行い、経営計画を承認していただきました。

学校運営協議会委員の方々には、1年間、地域の代表として、よりよい学校づくりを実現するために学校運営に参画していただくこととなります。

本年度の西小林小学校学校運営協議会委員は、次の6名の方々です。

- 窪田 好昭さん(区長代表)
- 原屋敷 戸代子さん(地域代表)
- 徳留 智美さん(地域代表)
- 松元 公孝さん(学校支援ボランティア)
- 中里 みきさん(地域代表)
- 弓場 雅巳さん(P.T.A会長)

右の写真は、委嘱状交付の様子です。学校運営協議会委員の皆様、1年間、どうぞよろしくお願ひいたします。



## きらきら子ども達の紹介

宮崎日日新聞の「若い目」に掲載された子ども達を紹介します。

4年 大牟田 亜彩音さん 「お手つだいど力」  
～4月7日(火)掲載

亜彩音さんが4年生で「宿題を自分からすること」と「お手伝いをする事」をがんばろうとする決意が伝わってきます。

2年 平田 ゆいさん 「がんばったこと」  
～4月19日(日)掲載

ゆいさんが1年生で「なわとび」と「りつよう」をがんばってうれしかったことがよくわかります。